

報 道 発 表

令和 8 年 9 月 29 日（火）

東北農政局
東北森林管理局
東北地方整備局
東北運輸局
東北環境局

「第 2 回 東北地方におけるツキノワグマ出没・被害対策オンラインセミナー」の開催について ～今年の出没の傾向と、クマと出会わないための備え、取組事例を紹介～

東北農政局、東北森林管理局、東北地方整備局、東北運輸局及び東北環境局は連携して「第 2 回 東北地方におけるツキノワグマ出没・被害対策オンラインセミナー」を令和 8 年 10 月 6 日（火）にオンラインで開催します。

クマの出没が増える秋を前に、今年の出没の傾向や、クマと出会わないための備えについて、専門家が最新の知見を交えて解説するほか、現場の取組事例を紹介します。

1 開催の趣旨

近年は、東北地方ではツキノワグマの出没が市街地にまで拡大し、人身被害が深刻化しています。特に秋は、冬眠を前にクマの活動が活発になる時期です。

本セミナーは、本年 6 月に開催した第 1 回に続くもので、秋期の被害防止を目的として、国の 5 機関が連携し、今年の出没の傾向、クマに近づかない・出会わないための備え、現場の取組事例を紹介します。

2 開催概要

- (1) 名称 第 2 回 東北地方におけるツキノワグマ出没・被害対策オンラインセミナー
- (2) 日時 令和 8 年 10 月 6 日（火）13:10～14:50
- (3) 開催方法 オンライン（Microsoft Teams）
（配信会場 東北農政局 1 階会議室）
- (4) 参加費 無料（事前申込制）
- (5) 対象 地域住民、農林業関係者、建設・工事関係者、登山・山菜採りをされる方、観光関係者、自治体・行政担当者 等
- (6) 主催 東北農政局、東北森林管理局、東北地方整備局、東北運輸局、東北環境局

3 主な内容

- (1) 基調講演「クマ生息地で作業の際の安心安全の確保について」
今年の出没の傾向や、クマの生息地で活動する際に出会わないための対策等について、専門家が最新の研究成果を交えて解説します。
講師：山崎 晃司 氏（茨城県自然博物館 館長／東京農業大学 名誉教授）
主な内容（予定）：今年度のクマの出没傾向、市街地への出没、クマと出会わないための対策 ほか
- (2) 最新の出没・被害状況の共有（東北環境局）
東北地方における最新の目撃・出没情報や人身被害の状況等について、報告します。

(3) クマ撃退スプレーの性能に係る「推奨要件」(東北環境局)

本年8月に策定された、クマ撃退スプレーの性能に係る推奨要件について紹介します。これは、クマに近距離で遭遇した際に危険を回避する有効な手段の一つとして、人命を守るために必要と考えられる性能を示すものです。製造・販売事業者や、購入・使用する消費者に向けた情報発信を行います。

(4) 現場の取組事例紹介

農地・森林・工事現場・観光地の各分野における、実践的な取組事例を紹介します。

- ・農地：恒久電気柵等による農地への侵入防止対策（岩手県二戸市の取組）
- ・森林：東北森林管理局における取組状況（緩衝林帯整備 ほか）
- ・工事・調査現場：作業の流れに組み込むクマ対策の実践事例
- ・観光地：観光地における注意喚起等の取組

4 参加申込方法

事前申込制です。下記の申込フォーム（Microsoft Forms）（外部リンク）よりお申込みください。

申込フォーム：<https://forms.cloud.microsoft/r/bRNJHmimAT>



申込締切：令和8年10月5日（月）

10月2日（金）12:00 までにお申込みいただいた方には、10月2日（金）に参加用 URL をお送りします。

10月2日（金）12:00 以降にお申込みいただいた方には、受付後、参加用 URL をお送りします。

参加用 URL の使用は本人限りとし、転送・公開はご遠慮ください。

録音及び録画はご遠慮ください

【個人情報の取り扱いについて】

お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、本セミナーの運用に限り利用します。

5 報道関係者の皆様へ

本オンラインセミナーに関して、取材を希望される場合には、問合せ先の東北農政局担当者に前日までに連絡のうえ登録願います。

※日程等については予定であり、変更・中止となる場合がございます。

【記者発表会】青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問合せ先】

東北農政局農村振興部農村環境課長
代表電話 022-263-1111（内線 4131）

東北森林管理局計画保全部保全課企画官
電話 018-836-2035

東北地方整備局総務部総務課建設専門官
代表電話 022-225-2171（内線 2352）

東北運輸局観光部観光企画課長
電話 022-791-7509

東北地方環境事務所野生生物課長
電話 022-722-2876

第2回クマセミナープログラム

日時：令和8年10月6日（火）13:10～（オンライン、配信主会場：東北農政局1階会議室）

No	時間	所要	区分	内容	登壇者
	13:10			開会	
1	13:11 ～13:14	3分		主催者挨拶（簡潔に）	農政局
2	13:14 ～13:17	3分		プログラム説明・講師紹介・本日の対象と時間割の明示	司会
【第1部 最新状況の共有】					
3	13:17 ～13:22	5分	A	最新の目撃・出没情報・人身被害状況	環境局：半澤剛クマ対策専門官
【第2部 基調講演】					
4	13:22 ～14:02	40分	B	クマ生息地で作業の際の安心安全の確保について	茨城県自然博物館 館長 山崎晃司氏
5	14:02 ～14:12	10分	B	質疑応答	
【第3部 身を守るための対策情報】					
6	14:12 ～14:17	5分	A	クマ撃退スプレーの性能に係る推奨要件	環境局：半澤剛クマ対策専門官
【第4部 現場の取組事例紹介】					
7	14:17 ～14:28	11分	C	恒久電気柵等による農地への侵入防止対策（二戸市の取組）	二戸農業改良普及センター 大野浩氏／小野寺理氏
8	14:28 ～14:33	5分	C	東北森林管理局における取組状況（緩衝林帯整備ほか）	森林管理局：神成悟課長
9	14:33 ～14:38	5分	C	作業の流れに組み込むクマ対策（工事・調査現場の実践事例）	整備局：山内純一課長補佐
10	14:38 ～14:43	5分	C	観光地における注意喚起等の取組	運輸局：阿部和行課長
11	14:43 ～14:47	4分		閉会・アンケート/アーカイブ案内	環境局・司会

※区分：A 行政機関からの情報提供

B 有識者による最新の状況解説

C 取組事例紹介

クマ被害対策の取組状況

東北森林管理局
令和8年10月6日

東北森林管理局におけるクマ被害対策パッケージ（概要）

- 東北森林管理局管内5県における令和8年度の人身被害件数は、全国の約5割を占める（R8.7末時点）
- 政府が策定した「クマ被害対策パッケージ」を踏まえ、市町村からの要望・地域との連携を基本として、以下の3つの観点から取組を実施

人の生活圏とのすみ分け

- 多様な森林づくり
- ナラ枯れ被害対策
- 緩衝林帯の整備 等

地域との連携

- 緩衝林帯の整備
- 箱ワナや電気柵の設置
へのフィールド提供 等

情報発信

- 堅果類の豊凶調査及び
情報発信
- 国有林の巡視と目撃情
報の市町村等への情報
提供
- 林業従事者の安全確保
等



人の生活圏とのすみ分け

多様な森林づくり

- ◆ クマ等の野生鳥獣の生息環境の保全に向け、針広混交林や広葉樹林へ誘導

ナラ枯れ被害対策

- ◆ 被害木の伐倒・燻蒸事業のほか、おとり丸太による誘因捕獲を実施



R8.9.10大量集積型おとり丸太(カシノナガキクイムシの誘因捕獲による面的防除)の勉強会（秋田森林管理署管内）

【取組内容】

- 広葉樹の保残に配慮した森林施業や、「緑の回廊」内や奥山などの人工林は自然条件等に応じて針広混交林や広葉樹林へ誘導していくことなどに取り組んでいる
- 自治体職員や林業関係者を対象とした「大量集積型おとり丸太(カシノナガキクイムシの誘因捕獲による面的防除)の勉強会」を開催
- ナラ枯れ被害のまん延防止に資するよう、地元自治体の要望も踏まえ、被害が拡大しやすい大径木を伐採するナラの若返り伐採を実施(岩手県八幡平市)

緩衝林帯の整備

- ◆ 下刈、除伐等を実施し、クマの隠れ場所を減少させ、偶発的な遭遇を抑止
- ◆ 民家や公道等に接している造林地や具体的なクマ出没情報等に基づき、実施



仙北市角館
下刈り作業後の状況 国道から撮影



大仙市 林内作業
一般社団法人秋田林業土木協会

【取組状況】

- 令和8年度については、盛岡森林管理署3.00ha(滝沢市)、岩手南部森林管理署2.68ha(平泉町、花巻市、西和賀町、北上市)、宮城北部森林管理署2.78ha(石巻市、大和町)、秋田森林管理署7.97ha(仙北市、大仙市)、由利森林管理署1.60ha(由利本荘市)において、合計10ヶ所18.03haで実施した
- 一般社団法人青森林業土木協会(西和賀町、北上市)、一般社団法人秋田林業土木協会(大仙市)からはボランティアによる協力をいただいた

地域との連携

箱ワナや電気柵の設置 へのフィールド提供

- ◆ 市町村の要請に基づき、箱ワナや電気柵を設置するフィールドとして国有林を提供
- ◆ 箱ワナ設置について、手続きの簡素化等も検討



青森県十和田市「十和田湖畔」の箱ワナ設置

【取組内容】

- 「箱わな設置場所提供」の実績：青森署管内八甲田山登山道付近5か所(5基)、三八上北署管内十和田湖畔敢湖台展望台付近2か所(2基)、米代西部署管内風の松原地内2か所(2基)
- 箱ワナ設置については、入林届の提出や緊急時には事後届出により、事務手続きを簡素化

情報発信

堅果類の豊凶調査及び 情報発信

- ◆ブナの開花や結実状況を引き続き調査し、その結果を公表
- ◆市町村へ情報提供し、クマの出没傾向や対策の参考に



雌花



雄花



結実

【取組内容】

- ブナ開花状況と結実予測については、7月7日付けで公表（青森県：並作、岩手県、宮城県、秋田県、山形県：豊作の予測）
- ブナ結実調査結果については、開花状況と同様、調査終了後に各署から各市町村へ情報提供するとともに公表予定

国有林の巡視と 目撃情報の市町村等への情報提供

- ◆ 住民の生活圏と近接する国有林を巡視し、クマの出没を確認した場合には、速やかに市町村等へ情報共有



R8.7.6八甲田山系での青森県・青森市・国による合同パトロール

【取組内容】

- 人身事故があった八甲田山系等で、県・地元自治体・国による合同パトロールを実施し、登山者等へチラシを配布し注意喚起を実施
- 目撃情報の提供実績
 - ・盛岡署2件(矢巾町、雫石町)
 - ・上小阿仁支署1件(北秋田市)
 - ・庄内署1件(酒田市)
 - ・最上支署3件(鮭川村)